

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第1回西脇市上下水道事業審議会
開催日時	平成29年8月3日（木） 午後2時00分～4時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター3階ホール
出席委員の氏名又は人数	長峯委員、岡本委員、大西委員、齋藤委員、藤原委員、下中委員、藤本委員、内橋委員
欠席委員の氏名又は人数	
出席職員の職・氏名又は人数	田中部長、岡本課長、伊藤課長、衣笠課長補佐、板場主任、細田主任
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 議事 (1) 平成28年度上下水道事業会計決算状況について (2) 上下水道事業の取組について
会議の記録（概要）	
発言者	別紙のとおり
問合せ先	西脇市上下水道部経営管理課 TEL 0795-22-3111 FAX 0795-22-8573

会議の記録（概要）	
発言者	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 委員の互選により長峯委員を会長に選出 <p>職務代理に齋藤委員を指名します。 本日の審議会の会議録署名委員に大西委員と齋藤委員を指名します。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の審議会について事務局から説明 ○ 平成 28 年度水道事業会計決算状況について事務局から説明 <p>今の説明の中で決算の収益的収入の値と経営戦略の投資・財政計画の値との違いについて、説明を求めます。</p>
事務局	<p>経営戦略の平成 28 年度の値は策定時の決算見込の値です。当初 1,800 万円の赤字を見込んでいたものが、結果として 1,600 万円の黒字という決算になりました。料金等の収入は見込と実績に大きな差異はありませんでしたが、経費の削減等により支出を見込より大きく抑えることができたため、このような結果となりました。</p>
委員	<p>1 ページ（収益的収支）と 2 ページ（資本的収支）にある減価償却費 5 億 5,583 万円と不足額の補てん 5 億 4,649 万円等についてですが、不足額補てんには積立金等も使っているということで、減価償却費より補てん額の方が小さいという点に違和感を覚えます。</p>
事務局	<p>資料では、分かりやすいように蓄えた資金という表現をしていますが、これは補てん財源から補てんしたものです。補てん財源には前年度からの繰越しなどもあり、減価償却費だけを資金として使っているわけではありません。補てん財源の余りは翌年に繰越しますし、余剰金があれば建設改良積立金という形で積立て</p>

<p>会長</p>	<p>ていき、必要な時に建設改良工事に使います。</p> <p>地方公営企業会計では減価償却費のところは非常に分かり難いです。ここでは平成 28 年度の決算での減価償却費と、資本的収支の不足額補てんというものが示されていて、減価償却したものが補てんに回っていくという形になりますが、投資額は多い年もあれば少ない年もあるので、この出し入れの過不足は資金ということで積み上げられます。これが 5 ページの財政計画の累計資金残で、これがいわゆる貯金（資金）で、毎年の投資と減価償却をして残った最終分で、これが将来使えるものになります。この説明でよいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。</p>
<p>委員</p>	<p>平成 28 年度は減価償却以上の投資はしていないということでしょうか？この年の減価償却額は 5 億いくらかで、投資額がそれ以下ならば、そんなには投資をしていないように思うのですが。下水道事業などは減価償却以上の投資をしているイメージがありますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>水道事業の投資は 6 億 6,623 万円で、水道事業も減価償却費以上の投資をしています。</p>
<p>会長</p>	<p>減価償却については下水道事業会計のところでも話がでてきますので、改めて上下水道事業全体への質問として、その時にあればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>水道料金収入が 8 億 4,816 万円となっていますが、これは他の自治体に比べてどうですか？高いのではないですか？</p>
<p>会長</p>	<p>他の自治体に比べて、西脇市の水道料金が高いのか安いのか、というご質問ですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>水道事業収入全体における「料金収入」としては近隣に比べて少ないです。三木市や小野市に比べると半分以下です。</p>

	<p>水道料金が安いという面では、家庭用月 20 m³での比較では、西脇市は 3,510 円、加西市 3,340 円、多可町 3,780 円、加東市 3,661 円、三木市・小野市は 2 千円台になります。</p> <p>三木市は人口約 8 万人で、事業所や工場もあり、使用水量は当市の 2 倍以上になります。このため料金は割安になっているかと。</p> <p>西脇市の水道料金は安くはありませんが、昨年度、今後値上げをしないための経営戦略を策定しました。また、近隣に比べると耐震化はかなり進んでいます。浄水場の耐震化率は 100%、配水池もほぼ 100%、管路はまだ 30%ですが、それでも近隣の 2 倍程度の耐震化率です。必要不可欠な設備への投資は、近隣に先んじています。</p>
委員	<p>利益（黒字）を削ったら、水道料金は安くできるのではないですか？</p>
事務局	<p>そのとおりですが、利益をだして貯蓄をしておかないと、将来施設の更新など何もできないということになります。</p>
委員	<p>このままの料金で続けて行けるのですか？</p>
事務局	<p>昨年度策定しました経営戦略は、10 年間は値上げをしない計画です。</p>
会長	<p>前提とした予測より人口が大幅に減るなどということが無ければ、10 年間は何とかなるという計画です。県内では料金は高い方ですが、水質や水源も市町によってそれぞれ違うので、利益などの比較は単純ではないですね。西脇市も合併時には 2 つの自治体で水質も料金も違っていました。10 年かけて統一したという経緯があります。</p> <p>○ 平成 28 年度下水道事業会計決算状況について事務局から説明</p>
委員	<p>下水道使用料計算時の使用水量は何に基づいている</p>

	<p>のですか？</p>
事務局	<p>主に水道の使用水量を下水道の使用水量とみなして計算しています。</p> <p>○ 上下水道事業の取組みについて事務局より説明</p>
委員	<p>井堰の写真がありました。1～2週間前の新聞で沖田井堰と和田井堰の記事がありました。これらは平成31年までに撤去できるのですか？</p>
事務局	<p>今年度に着手と聞いています。下流の井堰から着手します。</p>
委員	<p>日野地区は、井堰が撤去されると水位が下がるだろうと思いき、それでいつ頃になるのかを聞きました。予算はついてますね。</p>
事務局	<p>はい。予算はついてます。</p>
委員	<p>日野地区から西脇地区にかけての杉原川は橋桁も多く、時間100mmのゲリラ豪雨が降ったら大変だろうなと思います。西脇のゆかり橋あたりは低くて、そのような豪雨があれば洪水するのではと心配します。下水道も大切ですが、洪水対策も大切だと思います。</p>
事務局	<p>下水道としては、雨水処理・内水対策ということになります。</p>
会長	<p>治水という大きなくくりのお話でしたが、その中の一部を下水道事業が担っているということですね。</p> <p>ところで、井堰撤去は県の事業ですか？</p>
事務局	<p>県の事業です。</p>
会長	<p>井堰撤去について詳しい説明や見学等のご要望があれば、事務局へご相談ください。</p>
委員	<p>少し違う話ですが、羽安地区の田んぼの雨水は、大</p>

事務局	<p>木浄水場の辺りに集まっています。ここに水源がありますね。今は良いですが、このあたりの田んぼや山林を地域外の人が買い占めるようなことがあれば、水が枯れたり汚れたりする不安があると思います。</p> <p>ご教示ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none">○ この後の大木浄水場見学について事務局より説明○ 今後の審議会について事務局より説明 <p>(閉会)</p>
-----	---